

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)ありました。症状は腹痛、水様性下痢です。感染地域は国内、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は24例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(20歳代女性)ありました。感染地域は国外(カンボジア)で、感染経路は蚊媒介です。本年初めての報告となっています。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎です。感染地域は国内、感染経路は塵埃感染です。本年の累積報告数は20例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代女性)(第36週追加報告分)あり、症状は尿路感染症です。本年の累積報告数は26例となりました。
- 百日咳の報告が4例(10歳未満男性2例, 70歳代男性1例及び80歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は43例となりました。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.74となり、3週続けて大きく増加しています。まめに手洗いをを行い、せきなどの症状がある場合はマスクを着用するなど、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆ 今週のトピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところですが、結核予防週間にあたり、今週のトピックスでは平成29年の結核の状況についてまとめました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 8例(肺結核 6例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 237例(肺結核 104例, その他結核 62例, 潜在性結核感染者 71例)うち喀痰塗抹陽性 57例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類: 百日咳 4例【1月以降の累積報告数 43例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.16	11
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.33	186
	② RSウイルス感染症	2.74	118
	③ 手足口病	1.07	46
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	36
	⑤ ヘルパンギーナ	0.56	24
眼科	流行性角結膜炎	1.20	12

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <結核>

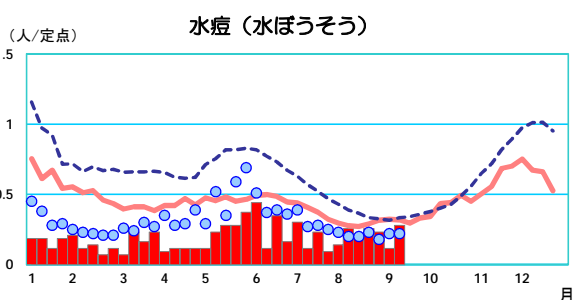
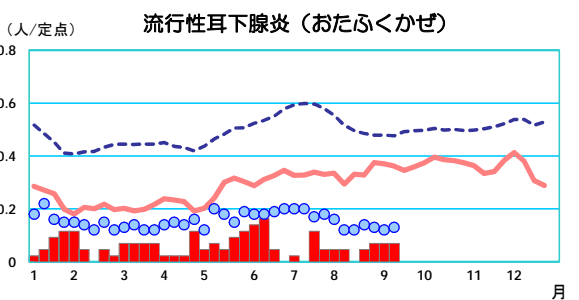
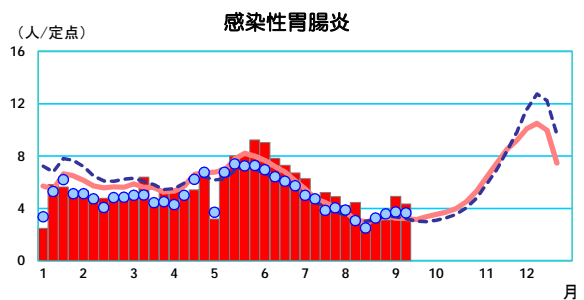
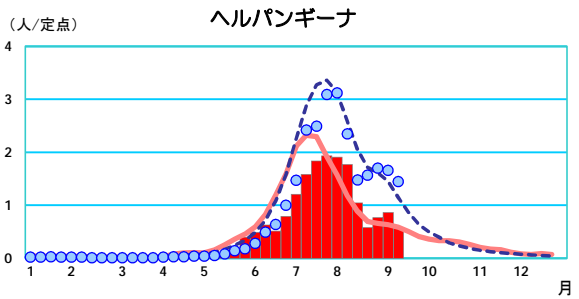
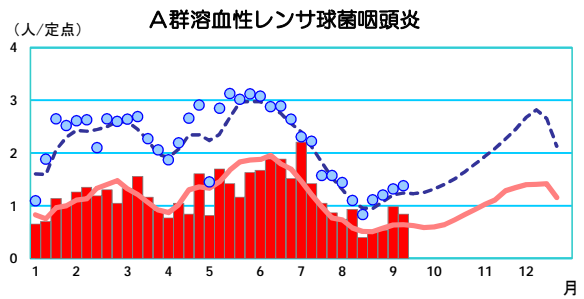
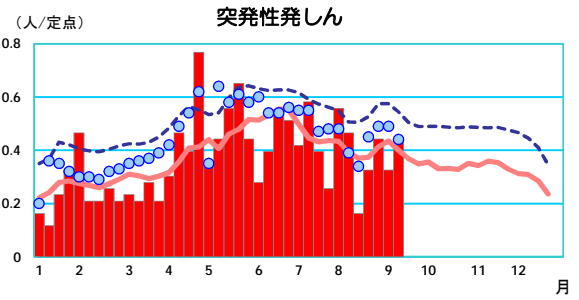
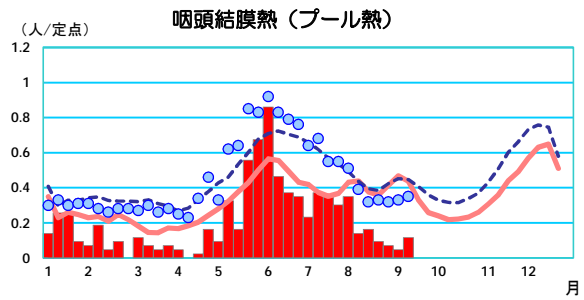
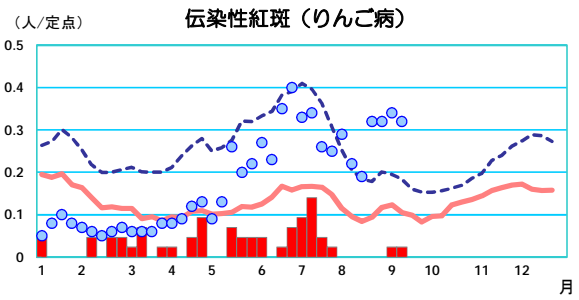
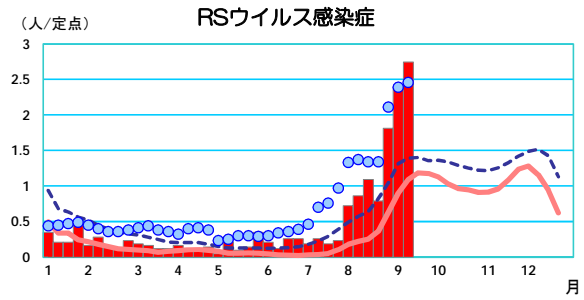
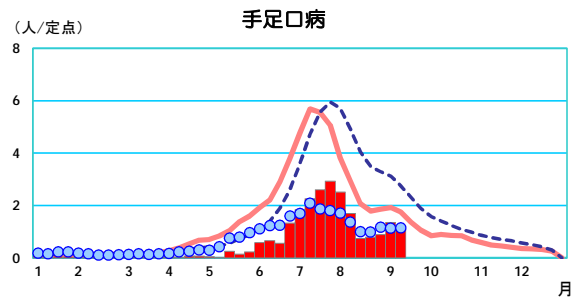
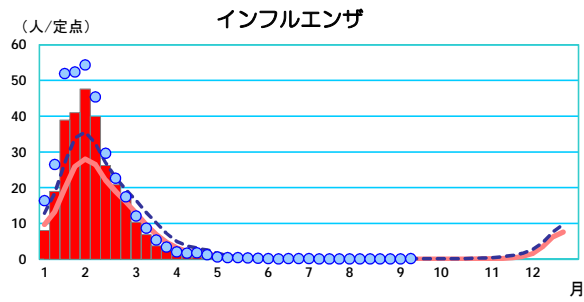
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年9月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第37週(9月10日～9月16日)トピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところですが、結核予防週間にあたり、今週のトピックスでは平成29年の結核の状況についてまとめました。

本市の結核新登録患者は過去10年減少傾向にあります。平成29年は235人で、平成28年(246人)と比べ11人減少しました。罹患率(人口10万対)は16.0で、平成28年の16.7から0.7ポイント減少しました。依然として、全国の13.3と比較して高い値を示しています。また、平成29年の肺結核喀痰塗抹陽性罹患率は6.9と、平成28年の6.1から増加しており、全国の5.0と比較しても高い値となっています(表1)。

新登録患者数を年齢階級別にみると、60歳以上の患者が占める割合が74.0%で、平成28年(78.9%)に比べると減少したものの、60歳以上の患者が高い割合を占めています。(図1)。

新登録患者の発見方法についてみると、83.0%が医療機関受診で、健康診断では15.7%が見つかります(図2)。さらに発見時の症状の有無をあわせてみると、医療機関で発見された場合は何らかの症状があることが多く(81.5%)、一方、健康診断で発見された場合は症状がないことが多い(73.0%)のが特徴です(図3)。

結核は、患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を他の人が吸い込むことで感染します。このため、発見や診断が遅れると、家族や身近な人へ感染させてしまうかもしれません。症状がなくても年1回は検診を受けるほか、2週間以上咳や痰(たん)、微熱が続くようなら早めに受診しましょう。

京都市では、年間を通じて区役所・支所で結核検診(胸部エックス線撮影)を無料で実施しており、結核予防週間にあわせて市民しんぶん各区版9月15日号でも案内しています。

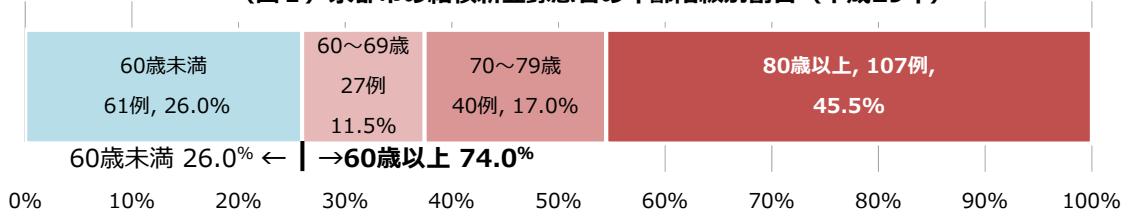
○京都市情報館ホームページ「結核検診について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

(表1) 京都市及び全国の結核新登録患者数

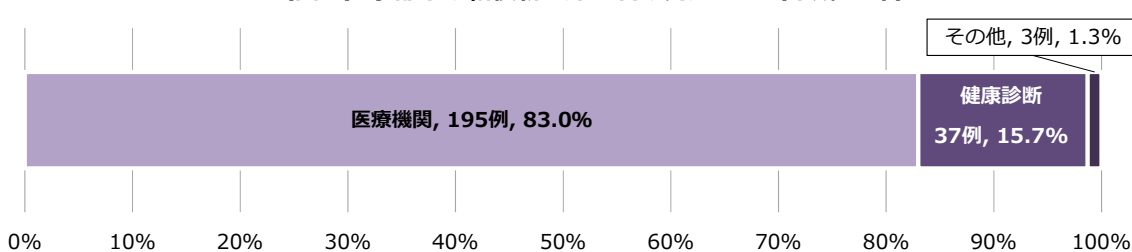
区分	平成28年	平成29年	全国(平成29年)*
新登録患者数(人)	246	235	16,789
罹患率(人口10万対)	16.7	16.0	13.3
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	90	101	6,359
新登録患者に占める割合(%)	36.6	43.0	37.9
罹患率(人口10万対)	6.1	6.9	5.0

* 全国の数値は平成30年6月28日現在の厚生労働省年報集計結果による

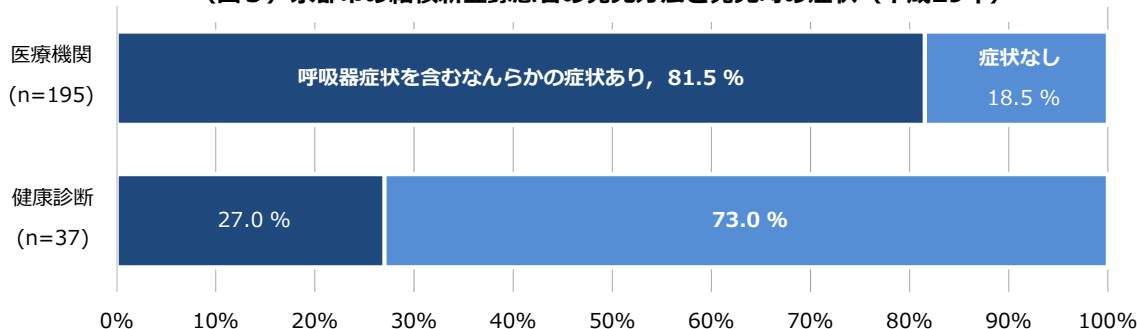
(図1) 京都市の結核新登録患者の年齢階級別割合(平成29年)



(図2) 京都市の結核新登録患者の発見方法(平成29年)



(図3) 京都市の結核新登録患者の発見方法と発見時の症状(平成29年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第37週

疾病,行政区別報告数

平成30年9月10日～平成30年9月16日

データ入手日:平成30年9月20日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7					
北	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7					
上京	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	21	-	6	72	6	7	-	3	4	1	-	-					
中京	-	5	-	3	3	-	4	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	9	-	1	16	-	-	-	-	1	-	-	-					
山科	2	15	-	5	7	-	4	-	2	-	-	-	2					
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	1	1	9	-	3	-	-	3	1	-	-					
右京	6	32	2	8	14	3	6	-	6	1	1	-	3					
伏見	2	23	1	9	51	2	12	1	2	10	-	-	-					
西京	-	11	-	3	12	-	10	-	3	1	-	-	-					
京都市計	11	118	5	36	186	12	46	1	19	24	3	-	12	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無 菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感 染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00					
北	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00					
上京	0.20	0.33	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	5.25	-	1.50	18.00	1.50	1.75	-	0.75	1.00	0.25	-	-					
中京	-	1.67	-	1.00	1.00	-	1.33	-	1.00	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	4.50	-	0.50	8.00	-	-	-	-	0.50	-	-	-					
山科	0.29	3.00	-	1.00	1.40	-	0.80	-	0.40	-	-	-	2.00					
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	0.33	0.33	3.00	-	1.00	-	-	1.00	0.33	-	-					
右京	0.75	6.40	0.40	1.60	2.80	0.60	1.20	-	1.20	0.20	0.20	-	3.00					
伏見	0.18	3.29	0.14	1.29	7.29	0.29	1.71	0.14	0.29	1.43	-	-	-					
西京	-	2.20	-	0.60	2.40	-	2.00	-	0.60	0.20	-	-	-					
京都市計	0.16	2.74	0.12	0.84	4.33	0.28	1.07	0.02	0.44	0.56	0.07	-	1.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年9月10日～平成30年9月16日

データ入手日:平成30年9月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	11	-	-	-	-	-	-	-	1	4	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	118	17	18	56	20	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		5	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	-	-	-	1	2	7	3	5	5	6	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		186	3	25	28	25	10	13	13	6	12	6	5	12	9	19	-	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	1	-	-	1	3	3	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		46	-	6	17	7	5	3	2	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	-	7	9	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		24	-	5	5	10	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	12	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	2	1	1	3	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.16	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.06	0.07	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	2.74	0.40	0.42	1.30	0.47	0.07	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.12	-	-	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.84	-	-	-	0.02	0.05	0.16	0.07	0.12	0.12	0.14	0.07	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.33	0.07	0.58	0.65	0.58	0.23	0.30	0.30	0.14	0.28	0.14	0.12	0.28	0.21	0.44	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.28	-	0.02	-	-	0.02	0.07	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.07	-	0.14	0.40	0.16	0.12	0.07	0.05	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.44	-	0.16	0.21	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.56	-	0.12	0.12	0.23	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	1.20	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	0.20	0.10	0.10	0.30	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年9月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	1	-	-	11
RSウイルス感染症	37	47	34	78	103	118
咽頭結膜熱	6	7	4	3	2	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	17	23	23	42	36
感染性胃腸炎	192	108	137	134	212	186
水痘	11	9	11	10	5	12
手足口病	73	32	34	38	58	46
伝染性紅斑	-	-	-	-	1	1
突発性発しん	20	7	14	19	14	19
ヘルパンギーナ	76	45	25	33	37	24
流行性耳下腺炎	2	-	2	3	3	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	1	4	4	5	12
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	460	273	289	345	482	473

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	0.01	-	-	0.16
RSウイルス感染症	0.86	1.09	0.79	1.81	2.40	2.74
咽頭結膜熱	0.14	0.16	0.09	0.07	0.05	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	0.40	0.53	0.53	0.98	0.84
感染性胃腸炎	4.47	2.51	3.19	3.12	4.93	4.33
水痘	0.26	0.21	0.26	0.23	0.12	0.28
手足口病	1.70	0.74	0.79	0.88	1.35	1.07
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.02	0.02
突発性発しん	0.47	0.16	0.33	0.44	0.33	0.44
ヘルパンギーナ	1.77	1.05	0.58	0.77	0.86	0.56
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.05	0.07	0.07	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.10	0.40	0.40	0.50	1.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.93	6.43	7.02	8.33	11.59	11.82

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。